

スライドを作成する要領と テンプレート

岩熊 哲夫（構造強度学研究分野）

2008 年 12 月吉日

§1 普通にだらだら書いたら駄目だが …

この例のように 10 行を越えないこと！

[illegible]

§2 箇条書き

- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお

箇条書き一小出しにする

- 私はこういうのが大嫌いではあるが、薄くは見えることから、ま、ケースバイケースだろうか
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- ただし、この最後の二つの項目くらいは同時に出して、審査員がちゃんと理解できるだけの時間はスピーチを続けること

箇条書き—小出しにする

- 私はこういうのが大嫌いではあるが、薄くは見えることから、ま、ケースバイケースだろうか
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- ただし、この最後の二つの項目くらいは同時に出して、審査員がちゃんと理解できるだけの時間はスピーチを続けること

箇条書き一小出しにする

- 私はこういうのが大嫌いではあるが、薄くは見えることから、ま、ケースバイケースだろうか
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
おあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- あいうえおあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
おあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお
- ただし、この最後の二つの項目くらいは同時に出して、審査員がちゃんと理解できるだけの時間はスピーチを続けること

§3 図を Minipage で横に並べる場合

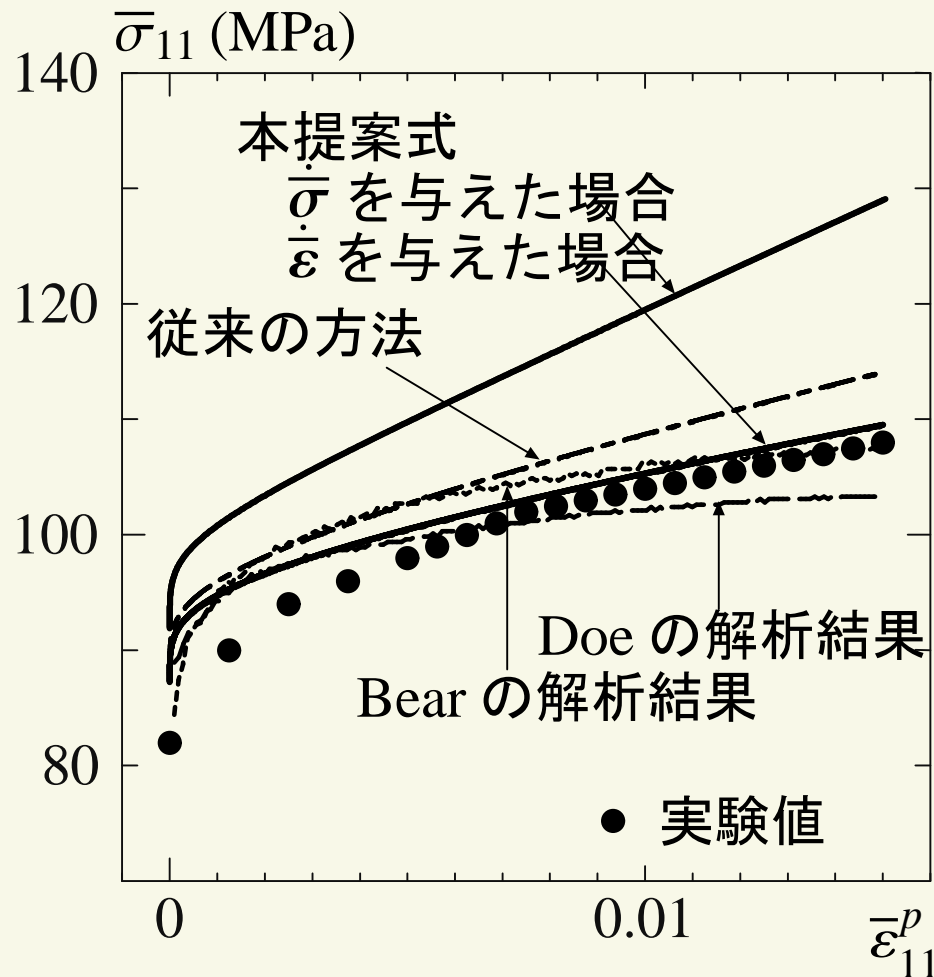
例えば，左に図を置いて，その説明を右に置く場合。



- 考察 1
- 考察 2
- 考察 3
- 考察 4
- 考察 5

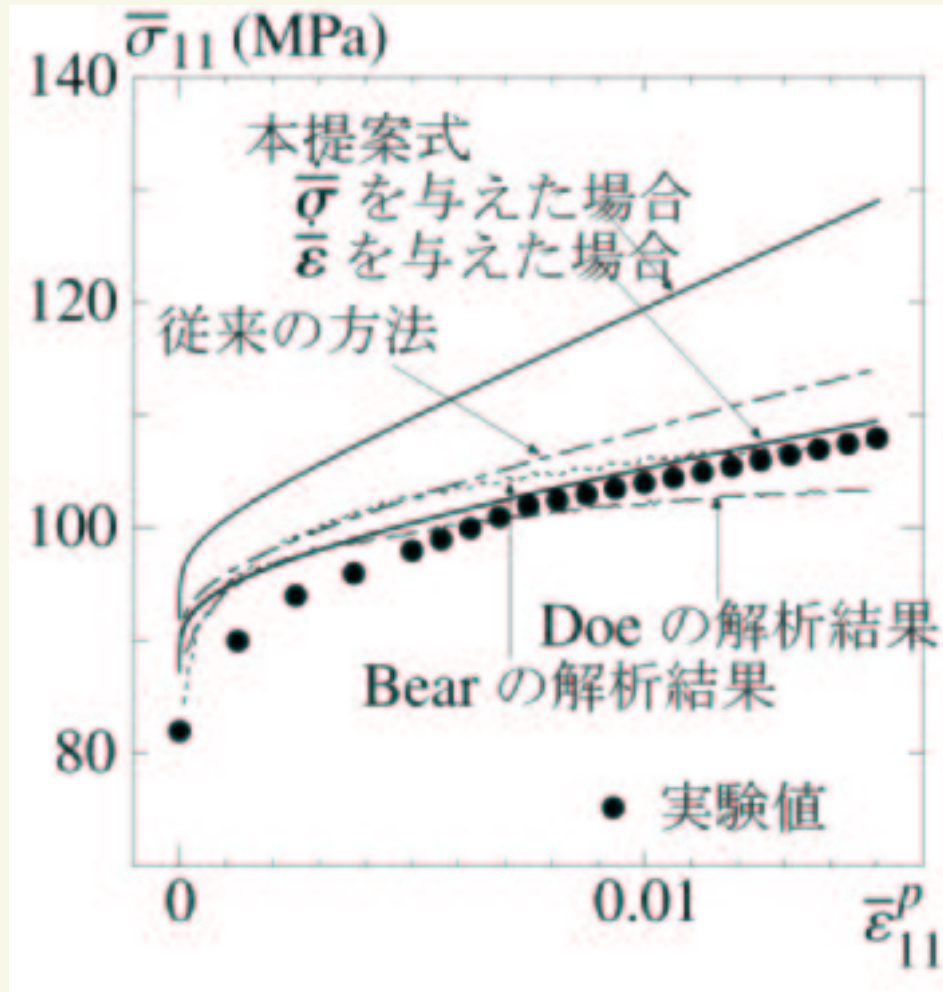
- さらなる考察 A
- さらなる考察 B

TPIC の図を Minipage で横に並べる場合



- わかったことその一あ
いうえお
- わかったことその二か
きくけこ
- わかったことその三さ
しすせそ
- わかったことその四た
ちつてと
- わかったことその五な
にぬねの

TPIC→dvi→bmp→PS にした図の場合



- わかったことその一あ
いうえお
- わかったことその二か
きくけこ
- わかったことその三さ
しすせそ
- わかったことその四た
ちつてと
- わかったことその五な
にぬねの

Wrapfigure も使えます

E_1, E_2 : 母材と非均質体 ($f\%$) の Young 率としたとき

ここには図

ここでは図の高さで3行指定をしてあるが、たいていは指定しなくても、適切に行が空くはず。駄

目なときは[行数]指定。あいうえおあいうえおあいうえお

$$I = \int f(z) dz \quad (1)$$

相互作用 1: 母材と非均質体の間の作用とあいうえおあいうえおあいうえおあいうえお

相互作用 2: 非均質体同士の作用

§4 数式を Eqnarray で並べる場合はこのくらい

複数の式を列挙する場合は次のようになるだろうか。
説明をここにすることができる。

次のようにすると上下スペース無駄なくセンタリング
標準的な支配方程式 (簡単のために成分で表す)

ひずみ: $\epsilon_{ij} = e_{ij} + \epsilon_{ij}^*, \quad \epsilon_{ij}^* \neq 0 \text{ in } \Omega$

ひずみ変位関係: $\epsilon_{ij} = \frac{1}{2} (u_{i,j} + u_{j,i})$

Hooke の法則: $\sigma_{ij} = C_{ijkl} e_{kl} = C_{ijkl} (\epsilon_{kl} - \epsilon_{kl}^*)$
$$C_{ijkl} = \mu (\delta_{ik} \delta_{jl} + \delta_{il} \delta_{jk}) + \lambda \delta_{ij} \delta_{kl}$$

つり合い式: $\sigma_{ij,j} = 0$

境界条件: $n_j \sigma_{ji} = 0 \quad \text{at } x = \infty$



思い出の写真は emptyslide のページに